

注目ポイント！

- 世界一と言われる阿蘇カルデラ火山とそこに住む地域の魅力を観光に。
- 「ゆっくり・のんびり阿蘇大陸」をコンセプトに。



外国人観光客数が約6万人から約27万人に！
(平成13年) (平成16年)



阿蘇外輪山から見た涅槃像

◇◇ コラム ◇◇

事務局長として就任以降、「ゆっくり・のんびり阿蘇大陸」をコンセプトに、農村、商店街、自然を楽しむ阿蘇カルデラツーリズムの開発と、公共交通を組み合わせた「スローな阿蘇づくり」を推進する。

自然豊かな阿蘇で、ゆっくりと過ごすことのできる新しい旅のかたちが始まっている。



阿蘇地域振興デザインセンター
事務局長 坂元 英俊氏

これまでの経緯

- 平成 2年(1990) 熊本県と阿蘇広域12ヶ町村により「阿蘇環境デザインセンター」が設立。
- 平成10年(1998) 財団法人阿蘇地域振興デザインセンターとして改組拡充され、阿蘇広域連携による地域振興、観光振興、環境・景観保全、情報発信の取り組みが進められる。
- 平成15年(2003) 阿蘇自然案内人協会の発足。
阿蘇地域内に循環バスの実証実験を行う。
- 平成17年(2005) 観光関係者向け外国語講座の実施。
- 平成18年(2006) 交通実証実験等を受け、循環バスの運行が通年化。

主な取り組み

阿蘇の魅力を感じられるエコツアー

阿蘇自然案内人とめぐるエコツーリズムに取り組んでいる。阿蘇の大草原を歩いたり、溪流を登ったりするツアーで、今までの阿蘇とは違う一面を見せることにより、新たな魅力を創出。



多くの人が利用する遊歩道



エコツアー

湧き水と森の商店街づくり(一の宮門前町商店街の取り組み)



門前町商店街

循環バスの実証実験を契機として、商店街の二代目を中心に、商店街で時間を過ごしてもらいまちづくりが始まる。統一看板の設置や緑陰の増設、食の開発が行われた結果、観光客が増加。

外国人観光客誘致の取り組み

外国人へのおもてなしのため、英語と韓国語の簡単な会話教室を実施。今では、自ら外国語の看板を作成する人もでてくる等、地域住民の意識が高まっている。



外国語講座

循環バスの運行による移動支援

国内外からの観光客の移動支援を図るため、実証実験の末、観光地を循環するバスの運行が通年化された。



循環バス

問い合わせ先

○(財)阿蘇地域振興デザインセンター
Tel : 0967-22-4801 Fax : 0967-22-4801
<http://www.asodc.or.jp> E-mail : info@asodc.or.jp